小松節子のハートフルメッセージ



職場体験学習を通じて磯松中生徒と交流

9月中旬、東広島市立磯松中学校職場体験学習のため、2年生4名の生徒を受入れました。東広島市立川上小学校の受入れは毎年行っていますが、中学生の受入れは初めての体験で、製造課の社員を中心とした受入チームで対応しました。台風の影響で3日間の予定が2日間に短縮されましたが、限られた時間のなかでも多くの体験をしてもらえるよう工夫して行いました。

初日は、ロボットセンターでメンテックワールドがどんな会社なのかを知ってもらうため、弊社の取り組みや各事業部の紹介をしました。メンテナンスや粉塵抑制装置、協働ロボット、自立走行型UV除菌ロボットのデモンストレーションを行い、協働ロボットと自立走行型UV除菌ロボットの操作体験をしてもらいました。生徒たちはロボットの動きに興味津々で楽しそうに操作をしていました。

その後、翌日からの製造課での職場体験に備えて安全教育を行いました。

最終日には、犯罪から会社や社員を守るセキュリティ事業部について説明した後、製造課でダクト製造に使用する亜鉛鋼板を使用した蓋付きの小物入れづくりを体験してもらいました。材料を折り曲げたり、ねじを締めたりと作業工程を体験することでものづくりの楽しさを知ってもらえる機会になりました。

東広島市には、ものづくり企業が多いことで知られています。将来、地元のものづくり企業で働きたいと思ってくれる若者を育てるためにも、今回のような職場学習体験は意義深いことです。東広島のものづくりを担う人財が育つよう、今後も積極的に地元に貢献したいと思います。（メンテックワールド社長）



磯松中生徒と筆者（左）
撮影：麻生祥代



製造課で作業工程の説明を受ける磯松中生徒